

JHL NEWS

No. 5

2010年9月27日

●発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大同、大崎が首位並走、北國も全勝キープ

～第35回 日本ハンドボールリーグ・第4週～

第35回日本ハンドボールリーグ・第4週は9月25、26日に男子4試合、女子3試合が行われ、男子では大崎電気がトヨタ紡織九州との全勝対決を37-35と競り勝ち、トヨタ車体に快勝した大同特殊鋼とともに開幕4連勝、女子は第1クールが終了し、北國銀行が5戦全勝で単独トップ、2位以下はオムロン、広島メイプルレッズ、ソニーセミコンダクタ九州が僅差で続いている。

紡織-大崎戦は、大崎が先行する紡織を捕らえて前半19分12-12と並ぶと、宮崎の速攻などで3連取。その後、紡織が呉、松信らで粘りを見せるものの、大崎は宮崎、東長濱のスカイプレーなどで21-16として前半を終えた。後半に入り紡織が大崎の退場に乗じて村上(秀)らで4連取、8分23-23の同点に。その後、1、2点差の攻防を繰り返すが、20分過ぎから森らでスパートをかけた大崎が27分36-31とリード。終盤、紡織も西端らの4連取で1点差まで詰め寄るが、終了間際、大崎・東長濱のカットインシュートが決まり、大崎が熱戦を制して4連勝を飾った。

車体-大同戦は、武田のロングシュートを中心に末松、地引らで着実に得点を重ねた大同が、高智の3連打などで反撃する車体に16-12と4点差をつけて前半終了。後半に入って車体は追い上げを図るが、大同GK・高木に阻まれて苦戦。車体は流れを変えるためセンター木切倉、GK・甲斐を投入するものの、大同の堅守と焦りから、大事な場面でミスが出て点差を縮められず、時間とともに敗色濃厚となった。大同は各選手がまんべんなく加点、攻守一体となった試合運びでV5王者の貫禄を見せつけた。なお、この試合で車体・門山が通算400得点を記録した。

初勝利をかけた琉球コラソン-豊田合成戦は、合成がコラソンのシュートミスなどに乗じて前半9分7-2と先行したのに対し、コラソンは栗崎のポストシュートでようやく3点目をあげると、ここから地元の大声援を受けた山梨出身の水野兄弟らが4連続得点をマークして加速、前半を15-15の同点で折り返した。後半は立ち上がりからコラソンのリズムが良く、高田、水野(裕紀)のシュートが効果的に決まり、20分27-22と混戦を抜け出した。合成も終盤に入って野田のミドルシュートなどで追撃、残り36秒で1点差まで詰め寄ったが、同点を狙ったシュートがコラソンGK・内田に阻まれて力尽きた。

女子で全勝の北國は三重が相手に開始2分3-0と先行。これに対し、三重は宮下のミドルシュートで1点を返すと、6分過ぎからエース伊藤が力強いロングシュートを連発、12分に6-5と逆転し、その後もリードする展開が続いた。しかし、北國は26分に上町が退場したピンチに若松がサイドから連取、さらに佐久川らでたたみかけ、17-15と態勢を入れ替えて前半終了。後半に入ると両チームともリズムに乗れないまま一進一退のロースコアの展開となったが、北國は屋嘉、上町らが要所で追加点を奪って優位をキープ、前半で8得点をあげた三重・伊藤を無得点に封じ込む好ディフェンスも光り、27-23と三重の反撃を退けた。(2ページに続く)



①初勝利をマークした琉球コラソン・水野(裕紀)
②開幕5連勝を飾った北國銀行・上町

第5週の日程

10月9日(土)	山形	東根市民体育館(JP奥羽本線さくらんぼ東根駅徒歩15分)	13:00~	(男)	トヨタ紡織九州×大同特殊鋼
	東京	墨田区総合体育館(JR総武線錦糸町駅徒歩1分)	14:00~	(男)	大崎電気×湧永製薬
	石川	小松市末広体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)	13:00~	(女)	オムロン×広島メイプルレッズ
			15:00~	(女)	北國銀行×HC名古屋
	福井	北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道観音町駅徒歩5分)	13:00~	(女)	ソニーセミコンダクタ九州×三重バイオレットアイリス
愛知	稲沢市総合体育館(名鉄名古屋本線府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分)	14:00~	(男)	豊田合成×トヨタ車体	
10月10日(日)	石川	小松市末広体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)	12:00~	(女)	オムロン×ソニーセミコンダクタ九州
			14:00~	(女)	北國銀行×広島メイプルレッズ
	愛知	ブラザー工業体育館(地下鉄名城線堀田駅徒歩10分)	13:00~	(女)	HC名古屋×三重バイオレットアイリス
			15:00~	(男)	トヨタ車体×琉球コラソン

広島ーソニー戦は決着つかずドロー

9月25日、広島での女子・広島メイプルレッズーソニーセミコンダクタ九州戦は、呉のリードから抜け出そうとする広島をソニーが粘り強く追いかける展開。後半22分、広島が27-22と5点リードし、懸命に逃げ切りを図ったものの、ソニーは長野、高栖らの活躍で残り2分を切って28-28の同点に追いつき、試合はそのまま引き分け。逃げ切れなかった広島には痛い試合となった。なお、この試合、10得点と活躍した広島・呉が女子で3人目の通算700得点をマークした。

翌26日、岡山では男子・湧永製薬と北陸電力が対戦。北電が積極的なディフェンスで湧永に食らいつき、試合は終盤まで予断を許さない接戦に。後半残り1分を切り、22-20と湧永2点リードの場面から、北電は落合のポストシュートで1点差。場内のボルテージが最高潮に達する中、湧永も慌てず北電が退場者を出したところで佐藤がカットインから2連取。湧永が粘る北電を突き放し、3勝目をマークした。

同日、大分ではオムロンとHC名古屋が激突。開始1分、エース藤井の強打で先制したオムロンが、7分過ぎまでに6連取。そのまま快調に飛ばすオムロンに対し、名古屋は菅谷、鈴木が果敢にシュートを放ったものの、オムロンの高く、厚い壁に阻まれて得点ペースが上がらないまま苦しい展開に終始。名古屋を寄せつけなかったオムロンが、手堅く3つ目の白星を重ねた。

第5週は千葉県体のブレイク期間をはさみ、10月9、10日の両日、男子5、女子6試合が組まれている。男女とも上位陣の直接対決に注目が集まる。

◆ 9月26日(日) 男子
山梨・小瀬スポーツ公園体育館

琉球	15-15	豊田合成
コラソン	32 (17-15)	30 0勝0分4敗
1勝0分3敗		
0/1 宮城		榎原 0/0
0/0 久高		原 0/0
1/1 1/6 村山		野田 9/13
4/9 水野		大橋 0/1
8/10 栗崎		桶谷 0/0
0/0 池田		中島 4/9
K 内田		森光 3/8
3/4 名嘉		加藤 0/0
3/3 内山		藤田 K
5/9 高田		今村 9/14
K 石田		中村 2/2
7/11 水野		紀芳 仲堂 K <0/1>
		米本 0/0
1/1 31/53	7(FPP)7	30/51 0/0
審判(北嶋・比留間)		観客 818人

◆ 9月26日(日) 男子
岡山・総社市スポーツセンター体育館

湧永製薬	24 (10-11)	21 北陸電力
3勝0分1敗	(14-10)	1勝0分3敗
K 志水		高橋 5/6
1/4 谷村		神田 2/6
0/1 木村		切越 0/0
1/3 坂本		桜井 1/7
1/2 山中		前田 1/3
0/0 福田		高田 2/8
4/5 佐藤		杉山 0/1
0/0 名嘉		落合 4/7
0/1 樋口		石塚 0/0
1/2 4/7 新		廣瀬 K <0/2>
K 松村		山原 6/10
5/9 古家		有江 K <1/2>
0/0 山口		櫛田 0/0
2/2 5/8 東長濱		
3/4 21/40	5(FPP)6	21/48 0/0
審判(家永・福島)		観客 1863人

◆ 9月26日(日) 男子
福岡・福岡県スポーツ科学情報センター

大崎電気	37 (21-16)	35 トヨタ紡織九州
4勝0分0敗	(16-19)	3勝0分1敗
K 浦和		松野 K <1/3>
0/2 染谷		中島 0/1
4/7 小澤		西端 1/1
1/1 前田		松信 3/3
0/1 4/6 豊田		村上秀 8/11
2/2 4/7 東長濱		呉相民 8/14
1/2 永島		佐久間 0/0
0/0 横地		村上勝 0/0
5/9 森		海道 3/5
5/7 岩永		谷川 K
2/3 猪妻		藤本 0/0
0/0 石川		鈴木 3/5
K 吉田		藤山 8/10
9/13 宮崎		石黒 1/3
2/3 35/57	11(FPP)9	35/53 0/0
審判(黒木龍・黒木秀)		観客 1861人

◆ 9月26日(日) 男子
大分・大分県立総合体育館

大同特殊鋼	31 (16-12)	26 トヨタ車体
4勝0分0敗	(15-14)	0勝0分4敗
<0/1> K 田中		石戸 0/2
0/0 棚原		佐々木 3/4
2/4 野村		高智 7/9
5/12 末松		藤田 0/0
0/0 浦田		木切倉 1/1 1/2
7/11 地引		富田 3/4
8/17 武田		光増 1/1
0/3 岸川		谷根 2/4
<1/1> K 高木		坪根 K
0/1 7/9 山城		香川 3/7
<1/1> K 東		崎前 0/2
0/0 下村		銘苺 2/3 0/1
0/0 松永		甲斐 K <1/1>
2/4 渡久川		門山 3/10
0/1 31/60	3(FPP)10	25/47 1/3
審判(亀井・堀川)		観客 1216人

◆ 9月25日(土) 女子
広島・東区スポーツセンター

広島メイプルレッズ	28 (13-13)	28 ソニーセミコンダクタ九州
2勝2分1敗	(15-15)	2勝1分2敗
<2/3> K 堂面		中島 K <0/1>
2/2 土屋		郭恵静 0/0
0/0 村山		長野 6/12
0/0 河田		高橋 3/3 1/3
2/3 大前		田中 4/6
3/3 5/12 植垣		山田 0/0
3/6 菅野		工藤 0/0
0/0 早川		儀間 0/0
10/16 呉成玉		高栖 5/5
0/0 五月女		川崎 0/0
K 横田		黒木 2/4
0/0 安齋		飛田 K <0/2>
0/1 高山		石井 0/0
3/4 新城		張素姫 7/9
3/3 25/44	5(FPP)7	27/39 1/3
審判(福田・富田)		観客 468人

◆ 9月26日(日) 女子
山梨・小瀬スポーツ公園体育館

北國銀行	27 (17-15)	23 三重バイオレットアイリス
5勝0分0敗	(10-8)	1勝0分4敗
<0/2> K 寺田		浅井 K <1/3>
0/0 鰺場		横川 4/6
3/4 5/9 上町		戎野 0/1
4/6 佐久川		石黒 0/0
0/0 川井		宮下 3/6
1/3 中村		谷口 0/0
4/7 横嶋		石坂 3/8
1/3 野路良		飯田 0/2
0/0 翁長		毛利 K <0/1>
K 田代		星野 3/5
0/0 井上		小川 1/1
0/1 八十島		伊藤 6/12 2/2
4/7 若松		村尾 1/1
5/9 屋嘉		
3/4 24/45	3(FPP)3	21/42 2/2
審判(永春・安田)		観客 713人

◆ 9月26日(日) 女子
大分・大分県立総合体育館

オムロン	33 (17-5)	11 HC名古屋
3勝1分1敗	(16-6)	0勝0分5敗
<1/1> K 藤間		近藤 K
6/7 城内		池田 0/0
2/4 高田		伊藤 1/1
4/6 巻		高橋瑛 0/0
0/2 稲葉		鈴木 1/12 1/3
0/0 吉田祥		菅谷 2/14
3/3 4/6 藤井		阪本 1/2
2/2 石立		外本 0/2
1/1 吉田薫		上野 3/3
1/2 久野		高橋玲 2/3
2/3 永田		家城 K <0/3>
<1/2> K 山中		秋山 0/0
5/6 松本紗		横井 0/0
3/7 東濱		井本 0/0
3/3 30/46	9(FPP)7	10/37 1/3
審判(浦川・石崎)		観客 727人

男女個人ランキング 第4週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 宮崎 大輔 (大崎電気) 30点 (4試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 44点 (5試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成) 29点 (4試合)	2 上町 史織 (北國銀行) 40点 (5試合)
3 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 28点 (4試合)	3 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 36点 (5試合)
3 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州) 28点 (4試合)	4 高橋 恵 (ソニー) 28点 (5試合)
5 呉 相民 (トヨタ紡織九州) 25点 (4試合)	5 高栖 由香 (ソニー) 25点 (5試合)
6 山城 貴志 (大同特殊鋼) 24点 (4試合)	5 藤井 紫緒 (オムロン) 25点 (5試合)
6 野田 祐希 (豊田合成) 24点 (4試合)	7 呉 成玉 (メイプルレッズ) 24点 (5試合)
6 末松 誠 (大同特殊鋼) 24点 (4試合)	8 長野 かづさ (ソニー) 23点 (5試合)
6 東長濱 秀作 (湧永製薬) 24点 (4試合)	9 新城 明奈 (メイプルレッズ) 20点 (5試合)
10 高田 匠 (琉球コラソン) 23点 (4試合)	10 土屋 友美 (メイプルレッズ) 19点 (5試合)
11 小澤 広太 (大崎電気) 20点 (4試合)	10 若松 里佳 (北國銀行) 19点 (5試合)
11 豊田 賢治 (大崎電気) 20点 (4試合)	10 横嶋 かおる (北國銀行) 19点 (5試合)
11 武田 享 (大同特殊鋼) 20点 (4試合)	10 星野 美佳 (バイオレットアイリス) 19点 (5試合)
14 落合 信也 (北陸電力) 19点 (4試合)	10 東濱 裕子 (オムロン) 19点 (5試合)
14 新 建二 (湧永製薬) 19点 (4試合)	15 大前 典子 (メイプルレッズ) 18点 (5試合)

フィールド得点

1 宮崎 大輔 (大崎電気) 30点 (4試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 36点 (5試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成) 29点 (4試合)	2 高栖 由香 (ソニー) 25点 (5試合)
3 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 28点 (4試合)	3 呉 成玉 (メイプルレッズ) 24点 (5試合)
4 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州) 26点 (4試合)	4 長野 かづさ (ソニー) 23点 (5試合)
5 呉 相民 (トヨタ紡織九州) 25点 (4試合)	4 上町 史織 (北國銀行) 23点 (5試合)
6 高田 匠 (琉球コラソン) 23点 (4試合)	4 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 23点 (5試合)
7 山城 貴志 (大同特殊鋼) 21点 (4試合)	7 新城 明奈 (メイプルレッズ) 20点 (5試合)
7 末松 誠 (大同特殊鋼) 21点 (4試合)	7 高橋 恵 (ソニー) 20点 (5試合)
9 小澤 広太 (大崎電気) 20点 (4試合)	9 土屋 友美 (メイプルレッズ) 19点 (5試合)
9 武田 享 (大同特殊鋼) 20点 (4試合)	9 若松 里佳 (北國銀行) 19点 (5試合)
11 落合 信也 (北陸電力) 19点 (4試合)	9 横嶋 かおる (北國銀行) 19点 (5試合)
11 豊田 賢治 (大崎電気) 19点 (4試合)	9 星野 美佳 (バイオレットアイリス) 19点 (5試合)
11 東長濱 秀作 (湧永製薬) 19点 (4試合)	9 藤井 紫緒 (オムロン) 19点 (5試合)
14 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州) 18点 (4試合)	9 東濱 裕子 (オムロン) 19点 (5試合)
14 新 建二 (湧永製薬) 18点 (4試合)	15 大前 典子 (メイプルレッズ) 18点 (5試合)
14 野田 祐希 (豊田合成) 18点 (4試合)	

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 小澤 広太 (大崎電気) 20点/ 27射 0.741	1 高栖 由香 (ソニー) 25点/ 30射 0.833
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 28点/ 41射 0.683	2 土屋 友美 (メイプルレッズ) 19点/ 24射 0.792
3 宮崎 大輔 (大崎電気) 30点/ 44射 0.682	3 新城 明奈 (メイプルレッズ) 20点/ 26射 0.769
4 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州) 26点/ 39射 0.667	4 高橋 恵 (ソニー) 20点/ 29射 0.690
5 今村 彰伸 (豊田合成) 29点/ 45射 0.644	5 若松 里佳 (北國銀行) 19点/ 29射 0.655
6 山城 貴志 (大同特殊鋼) 21点/ 33射 0.636	6 横嶋 かおる (北國銀行) 19点/ 31射 0.613
7 末松 誠 (大同特殊鋼) 21点/ 38射 0.553	7 星野 美佳 (バイオレットアイリス) 19点/ 34射 0.559
8 呉 相民 (トヨタ紡織九州) 25点/ 47射 0.532	8 長野 かづさ (ソニー) 23点/ 45射 0.511
9 武田 享 (大同特殊鋼) 20点/ 41射 0.488	9 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 36点/ 72射 0.500
10 高田 匠 (琉球コラソン) 23点/ 52射 0.442	10 呉 成玉 (メイプルレッズ) 24点/ 53射 0.453

7mスロー得点

1 野田 祐希 (豊田合成) 6点 (4試合)	1 上町 史織 (北國銀行) 17点 (5試合)
2 桜井 渉 (北陸電力) 5点 (4試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 13点 (5試合)
2 村山 裕次 (琉球コラソン) 5点 (4試合)	3 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 8点 (5試合)
2 東長濱 秀作 (湧永製薬) 5点 (4試合)	3 高橋 恵 (ソニー) 8点 (5試合)
5 東長濱 秀希 (大崎電気) 4点 (4試合)	5 藤井 紫緒 (オムロン) 6点 (5試合)
	5 鈴木 身江子 (HC名古屋) 6点 (5試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 吉田 耕平 (大崎電気) 2本/ 4射 0.500	1 藤間 かおり (オムロン) 7本/ 15射 0.467
1 内田 武志 (琉球コラソン) 2本/ 4射 0.500	2 堂面 妙子 (メイプルレッズ) 4本/ 10射 0.400
3 石田 孝一 (琉球コラソン) 2本/ 6射 0.333	3 寺田 三友紀 (北國銀行) 4本/ 14射 0.286
4 田中 雄大 (大同特殊鋼) 1本/ 4射 0.250	4 浅井 友可里 (バイオレットアイリス) 2本/ 9射 0.222
4 有江 啓 (北陸電力) 1本/ 4射 0.250	5 中島 亜樹 (ソニー) 3本/ 15射 0.200
	5 近藤 澄江 (HC名古屋) 1本/ 5射 0.200
	5 山中 絵里奈 (オムロン) 1本/ 5射 0.200

第35回日本ハンドボールリーグ成績表 第4週終了 9月26日

順位	男子	大崎電気	大同特殊鋼	トヨタ紡織九州	湧永製薬	北陸電力	琉球コラソン	トヨタ車体	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気			37 ○ 35		34 ○ 24	44 ○ 28	32 ○ 30		4	4	0	0	8	147	117	30
2	大同特殊鋼				27 ○ 22	26 ○ 19		31 ○ 26	27 ○ 26	4	4	0	0	8	111	93	18
3	トヨタ紡織九州	35 ● 37					28 ○ 22	33 ○ 30	41 ○ 29	4	3	0	1	6	137	118	19
4	湧永製薬		22 ● 27			24 ○ 21	28 ○ 21	29 ○ 28		4	3	0	1	6	103	97	6
5	北陸電力	24 ● 34	19 ● 26		21 ● 24				26 ○ 25	4	1	0	3	2	90	109	-19
6	琉球コラソン	28 ● 44		22 ● 28	21 ● 28				32 ○ 30	4	1	0	3	2	103	130	-27
7	トヨタ車体	30 ● 32	26 ● 31	30 ● 33	28 ● 29					4	0	0	4	0	114	125	-11
8	豊田合成		26 ● 27	29 ● 41		25 ● 26	30 ● 32			4	0	0	4	0	110	126	-16

順位	女子	北國銀行	オムロン	広島メイプルレッズ	ソニーセミコンダクタ九州	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行		23 ○ 20	26 ○ 21	28 ○ 26	27 ○ 23	27 ○ 17	5	5	0	0	10	131	107	24
2	オムロン	20 ● 23		25 △ 25	17 ○ 15	32 ○ 14	33 ○ 11	5	3	1	1	7	127	88	39
3	広島メイプルレッズ	21 ● 26	25 △ 25		28 △ 28	35 ○ 29	39 ○ 16	5	2	2	1	6	148	124	24
4	ソニーセミコンダクタ九州	26 ● 28	15 ● 17	28 △ 28		39 ○ 25	34 ○ 21	5	2	1	2	5	142	119	23
5	三重バイオレットアイリス	23 ● 27	14 ● 32	29 ● 35	25 ● 39		33 ○ 25	5	1	0	4	2	124	158	-34
6	HC名古屋	17 ● 27	11 ● 33	16 ● 39	21 ● 34	25 ● 33		5	0	0	5	0	90	166	-76

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。